



町から3人目のプロ野球選手誕生へ

10月20日、プロ野球ドラフト会議2022が行われ、日高町出身の門別啓人選手（東海大札幌高3年）が阪神タイガースから第2位指名されました。

門別選手は、小学生、中学生の時にそれぞれ選抜チームに選ばれる活躍を見せており、高校進学後もチームの主戦投手として活躍し、今夏の南北海道大会では準決勝まで勝ち進みました。

高沢秀昭選手、戸川大輔選手に続く3人目のプロ野球選手の誕生に期待が膨らみます。



写真提供：道新スポーツ

南北海道大会準決勝で力投する門別選手



大盛況だった共同募金のジャガイモ詰め放題

共同募金でジャガイモ詰め放題

10月12日、門別わかば保育所前に日高町共同募金委員会の臨時募金所が開設され、共同募金の受付と啓発活動が行われました。

募金を行った方を対象に、ジャガイモの詰め放題企画が行われ、児童館や保育所を利用している保護者や地域の方約80名が詰め放題に参加しました。

集まった募金は、16,327円となり、体が不自由な方や高齢者の方が地域で安心して生活するための支援金として活用されます。

もんべつ児童館 ニンジンの収穫体験

10月20日、門別ふれあいセンター裏の菜園において、もんべつ児童館に通う1年生11名が、秋の恒例行事となった収穫体験を行いました。

—昨年のサツマイモ、昨年の落花生に続き、今年はニンジンの収穫を行い、手際よく掘り出していました。大きく育ったにニンジンの収穫には苦戦する姿もみられましたが楽しみながら収穫しました。



収穫体験を終えて集合写真



多くの作品が展示されました

日高地区町民文化祭が開催

10月29日、30日に第16回日高地区町民文化祭（芸能発表・展示部門）が日高総合体育館、日高町民センターで開催されました。

13団体、個人から工芸、絵画、書道、写真など490点を超える作品が展示されました。芸能発表では幼児から高齢者まで7団体、ピアノ、ダンス、日本舞踊、太鼓等18演目が行われ、最後は日高高校産業学習生による勇壮な日高山岳太鼓のバチさばきに大きな拍手が送られました。

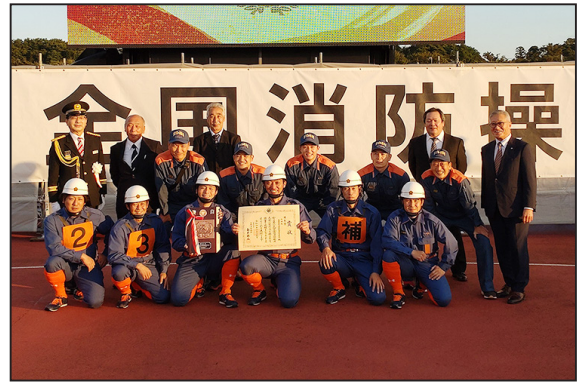


日高消防団が全国消防操法大会で入賞

10月29日に千葉県で開催された第29回全国消防操法大会（小型ポンプの部）に7月の北海道消防操法訓練大会を優勝した日高西部消防組合日高消防団（澤田則彦団長）が北海道代表として出場しました。

全国から24消防団が出場し白熱した大会となり、日高消防団は長期にわたる訓練の成果を遺憾なく発揮し、見事に優良賞（6位）になりました。

なお、北海道代表の小型ポンプの部での入賞は平成4年以来30年ぶりの快挙となります。



喜びに沸く出場団員と消防関係者



優勝したテオーケインズ号

テオーケインズ JBCクラシック制覇!

11月3日、盛岡競馬場で第22回JBCクラシック（Jpn I）が開催され、福満の有限会社ヤナガワ牧場生産馬テオーケインズ号が見事優勝しました。

圧倒的1番人気で支持されたテオーケインズ号は、最後の直線で前方馬を抜き去り、一気に2馬身半突き放して快勝しました。

同馬は昨年から連覇が懸かるチャンピオンズカップ（G1）に出走予定で今後の更なる活躍に大きな期待が寄せられます。

収穫の秋 地場産食材を学校給食で味わう

・JA門別町からお米の寄贈

今年も門別町農業協同組合（本間充組合長）からブランド米「馬舞米」の新米を寄贈していただきました。

10月下旬から学校給食で提供され、新米ならではのふっくらし、つやのあるお米を味わいました。子どもたちからは「新米はとても美味しく、おかわりをしました」などの感想が聞かれました。

門別産の新米を学校給食として提供する取り組みは、門別町農業協同組合が「ゆめぴりかコンテスト」で最高金賞を受賞した一昨年から続いています。

・日高定置漁業者組合から「銀聖」の寄贈

今年も日高定置漁業者組合（佐藤勝組合長）からブランド秋さけ「銀聖」を寄贈していただきました。

10月4日には、「銀聖の日」（10月1日）にちなんだ特別メニュー「銀聖の塩焼き」として旬の味覚を味わいました。子どもたちは給食をきれいにたいらげ、「美味しかったのでまた食べたい」などの感想が聞かれました。

地域で水揚げされた身近な食材を学校給食として味わうことで持続可能な食育の推進につながる貴重な経験となりました。



富川小学校での給食の様子（新米）



厚賀小学校での給食の様子（銀聖）